

2017年 大事にする心

学校教育目標：「地域に根ざし、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

第13号 武

校長 氏原 一宏

清心の新年スタート

2017年、新しい年がスタートしました。始業式に話した内容を掲載します。(多少の加除修正があります。)

今日(10日)は、少し風がありますが良い天気となりました。「なんとなく今年はいいことあるごとし 元日の朝 晴れて風なし」啄木の歌にあるように今年の元日は晴天風なしでした。良いことありそうですね。毎年、年末にその年を表す漢字が清水寺で発表されます。2016年は「金」でした。リオオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍が印象に残ったからでした。それと対照的に年の始めに、その年を占う漢字が愛媛県姫路市の円教寺で書かれます。「新春夢の書」というそうです。今年2017年の漢字は「誠」でした。この「誠」という字は、「本当の」とか「偽りのない」という意味を表しますが、語源を調べてみると、左の「言」は「言葉」、右の「成」は「成る」とか「成す」という意味で、合わせると、「自分の言ったことを、最後までしっかりとやり通す」という意味があるそうです。皆さんは新年の目標や抱負を心に描いたことと思います。目標や抱負を持つことはとても大事なことです。それにむけて地道にコツコツと努力を積み重ねることはさらに大切です。1年生はあと3ヶ月で中学校の1年間を修了します。4月から新入生が入学してきます。何事にも一生懸命取り組んで、良い先輩になれるよう頑張ってください。2年生は生徒会選挙を経験し、今は修学旅行の準備を進めていることと思いますが、まさに学校の「核」となるように頑張ってください。3年生は、言うまでもなく「進路実現」が大きな目標です。仲間意識の強い皆さんですので、「みんな頑張っている」「苦しいのは自分だけではない」という気持ちで乗り越えてください。「誠」という漢字の意味をかみしめて、前に進んでいきましょう。



駒ヶ岳冠雪(1/10)

【各学年代表の生徒の反省と抱負】

【1年生 小野太陽君】

冬休みは早寝早起きなどがうまくできませんでした。生活リズムをよくすることが大切だと反省しました。3学期は基本のことからしっかりやることを目標にしたいです。初心に戻り取り組みたいと思います。クラスでは、あいさつや授業態度がよくないことがあるので、呼びかけていきたいと思います。

【2年生 駒井 渚さん】

冬休みは、予習復習がうまくできませんでした。計画的に学習に取り組めるようにしたいです。2年生は3年生への準備期間ですが、まだ自覚が足りない面があるので、発言力や集中力を高めていきたいです。自学の充実も目指したいです。部活動では、ひとつひとつが最後になるので日々の練習を大切にしたいです。

【3年生 小尾海翔君】

冬休みは3年生は「真剣勝負」を合い言葉にして取り組みました。夏休みはうまく勝負できなかった。今回は、細かい学習予定を書いて、家の人にも見えるところに貼りました。前期や私立を受検する人は冬休み中も学校に来て、面接や作文の練習をしました。後期の人でも学習しに来ていました。卒業まで45日と聞いて驚いていますが、1日1日を大切に充実したものになりたいです。そして応援してくれている人に感謝したいと思います。

武川中プレイバックその6

古い資料を見ていると、校歌の作詞者の記録がありました。以下に抜粋引用します。

鹿山鷺村(かやま おうそん)は明治30年6月8日茨城県に生まれる。茨城県立工業高校を卒業後、富士製紙株式会社に勤務、同社退社後、田中智学先生の門人となる。昭和11年日本民謡協会総務理事となり、詩人として活躍した。野口雨情とは友好関係にあり、作曲家として有名な中山晋平らとともに「よき歌を作り、よき歌を謡う」を標識として事業を推進した。太平洋戦争が激しくなった昭和19年茨城製作所が武川村山高に疎開し、戦争部品の製造をしていた折、同社の常務として戦後も工場の残務整理と工場の転用運営に当たり工場閉鎖まで在住した。昭和35年に16年間在住した本村から武蔵野市に住居を移し翌年の昭和36年1月に他界した。武川小学校、中学校の校歌は武川村に在住した時代に作詞したものである。山梨大学音楽教授坂口五郎が作曲した。(その他、「武川音頭」の作詞、県立農林高校賛歌や県立甲府工業高校応援歌の作詞も手がけたことも書かれている。)

今私達が歌っている武川中校歌の作詞者のことが少し想像されます。これからも校歌を大事にしましょう。



書きぞめで洗心

始業式の日、恒例の校内書きぞめ大会を実施しました。まさに年の始めに書を書くという「書きぞめ」。1年生「実現」、2年生「春告げ鳥」、3年生「青雲大志」という課題に真剣に向き合う姿が見られました。昨年末の植松永雄先生の熱心な御指導がきっと生かされたと思います。文字の巧拙はあるかもしれませんが、大事なことは真剣に向き合う心です。書きぞめを通して、その心を学べたのではないのでしょうか。



柳澤吉保について学ぶ

昨年末の12月20日(火)2年生は柳澤吉保について学ぶ学習会を実施しました。講師に県立中央高校の平山 優先生をお招きして学習しました。平山先生は「武田氏研究会」副会長という肩書きもお持ちで、歴史研究者としても著名で、NHK大河ドラマ「真田幸村」の時代考証を担当され、ドラマのオープニングのタイトルバックにもお名前が登場します。武川町にも柳澤吉保の関係では10年くらい前から、深く関わっていただいています。そんな著名な先生にお越しいただき、柳澤吉保とこの武川町の間を軸に学ぶことができました。これまで「学校だより第8号」や「PTA新聞」にも、柳澤吉保と武川町の間、大和郡山市を訪問する修学旅行のことなどを書かせてもらいましたので、詳細は参照してください。武川中の生徒として「知っておくべきこと」に確実にノミネートされますので、学習のまとめをしっかりと、修学旅行の事前学習に役立ててください。

感謝状をいただきました

さきごろの「全国中学生人権作文コンテスト」に武川中の生徒の皆さんが多くの作品を応募したということで、法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会から学校に感謝状をいただきました。2学期終業式の日全校生徒に披露しました。有り難く拝受し、生徒の皆さんの頑張りを評価していただいたものと思い、共有し、記録と記憶にとどめたいと思います。



武川検定

「地域に根ざし」で始まる教育目標。まずは武川町を知ろう。

次の3枚の写真は、いずれも武川町内で撮影したものです。

これは何か。 武川町のどこにあるか。 今回の問題はこのふたつです。(解答は次号?)



写真(1)



写真(2)



写真(3)

入賞の追加報告 第10号、12号で紹介できなかった入賞関係を続報します。2学期終業式の日伝達披露はしました。北杜市駅伝競走 区間賞 2年 蔦木 里朱 教育祭図工・美術作品展 支部入選 1年 小澤寧々、柏木翔湧、水石弦太 2年 小野七星、小池寿里、駒井 菖 県特選 1年 田添莉明、2年 笠井晴奈 3年 中原文結 県小中学校音楽創作力くらべ 支部入選 1年 小澤寧々、田添莉明 2年 井上朱厘、小野七星、蔦木里朱 支部優良 3年 笠井希未 科学写真展 奨励賞 2年 小池寿里 久保野谷知有 野球部 中学生優秀選手賞 3年 藤森優太 皆さんの健闘を讃えます。